

令和4年度「学校評価アンケート」結果と分析及び改善・充実案について

家庭数配布

文京区立林町小学校

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

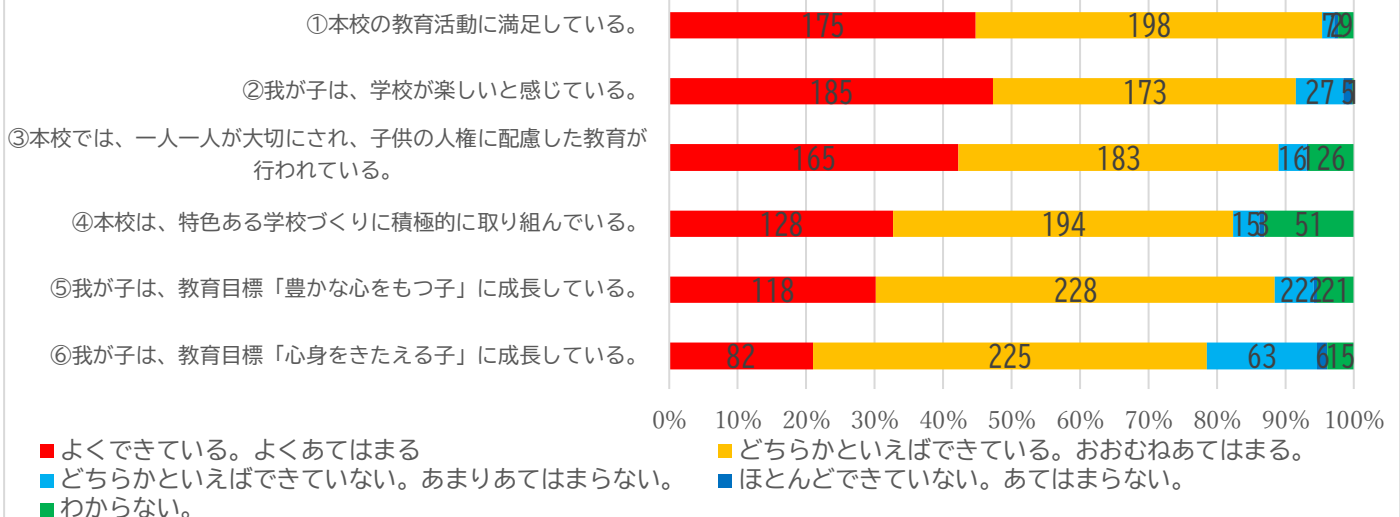
さて、学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。今年度の学校評価アンケートの結果と分析及び改善・充実案がまとまりましたので、お届けいたします。次年度の教育活動に生かして参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

実施期間 令和4年11月22日～12月5日 回答 391/630 【回答率62.0%（児童数で実施）】

今年度は昨年度までと「学校評価アンケート」の実施方法が大きく変わり、オンラインでの実施となりました。回答率については、昨年度の93.6%から30ポイント近くの手答率減となりました。これは実施方法の変化が一因であると考えられます。次年度以降は、再び多くのご回答をいただき、教育活動の改善に生かしていけるよう、保護者の方へのお知らせや実施の仕方を検討し改善して参ります。

変わらぬご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

1 学校運営・教育活動全般について



前年度との比較

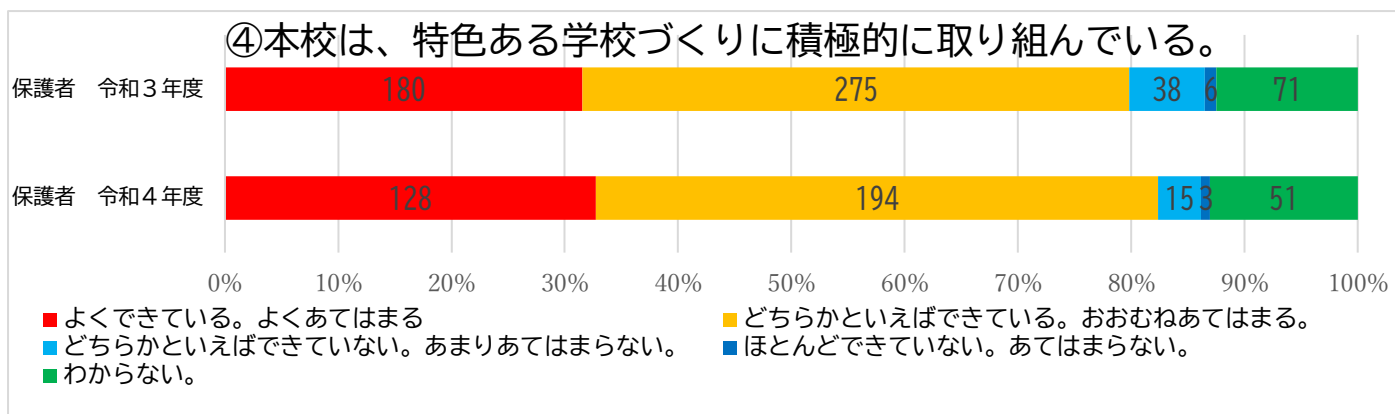
今年度の「1 学校運営・教育目標等について」の結果は、上のグラフの通りとなりました。

肯定的なご意見となるA・Bを合わせた割合は、前年度と比較して、

①「教育活動への満足」	令和3年度 95%	→	令和4年度 95% (増減なし)
②「楽しい学校」	92%	→	92% (増減なし)
③「一人一人を大切にした教育」	89%	→	89% (増減なし)
④「特色ある学校づくり」	79%	→	82% (3ポイントアップ)
⑤「豊かな心をもつ子」	91%	→	88% (3ポイントダウン)
⑥「心身をきたえる子」	81%	→	79% (2ポイントダウン)

となっています。

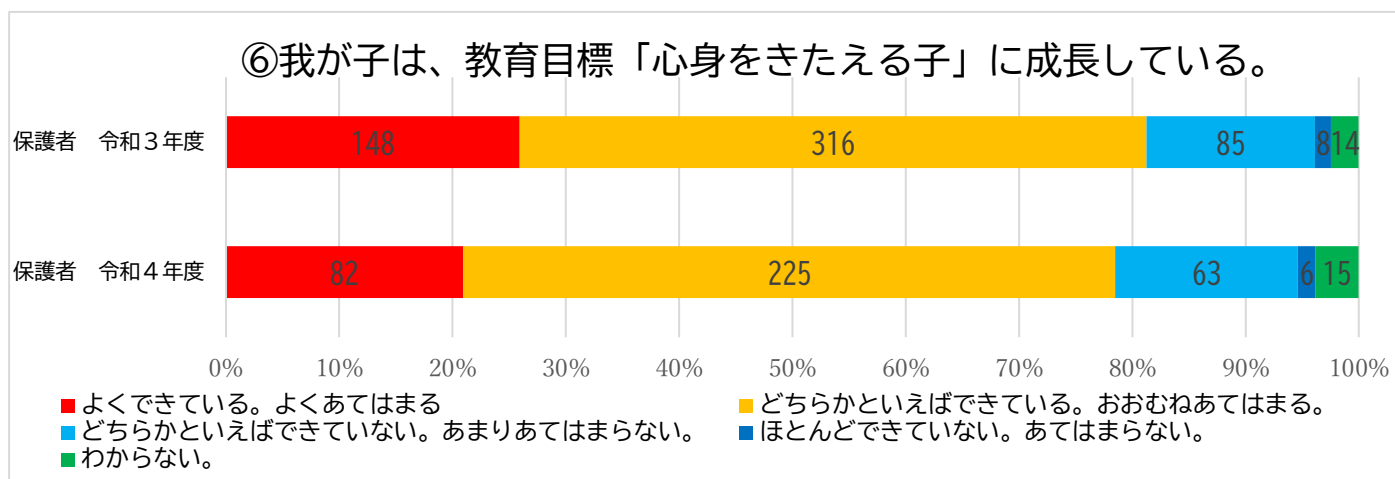
ピックアップ④「特色ある学校づくり」に関する項目について



分析及び改善・充実案

「特色ある学校づくりに積極的に取り組んでいるか」について、令和3，4年度のアンケート結果を比べて分析しました。「わからない」を除くと肯定的な割合は増えているのですが、昨年度同様にこの項目が他の評価項目の結果に比べて、保護者の方の「わからない」とした回答が多くなっており、引き続きの課題であると考えています。本校の特色のひとつである「交流および共同学習」を始めとして、「特色ある学校づくり」の内容が広く保護者の方に理解していただけていない要因を分析し、改善していきたいと考えています。保護者の方に、お子さんの所属する学年・学級だけではなく、林町小学校全体に関心をもっていただけるよう学校便りやホームページに活動の様子を今以上に掲載するなど、広報活動の変革に努めていきます。

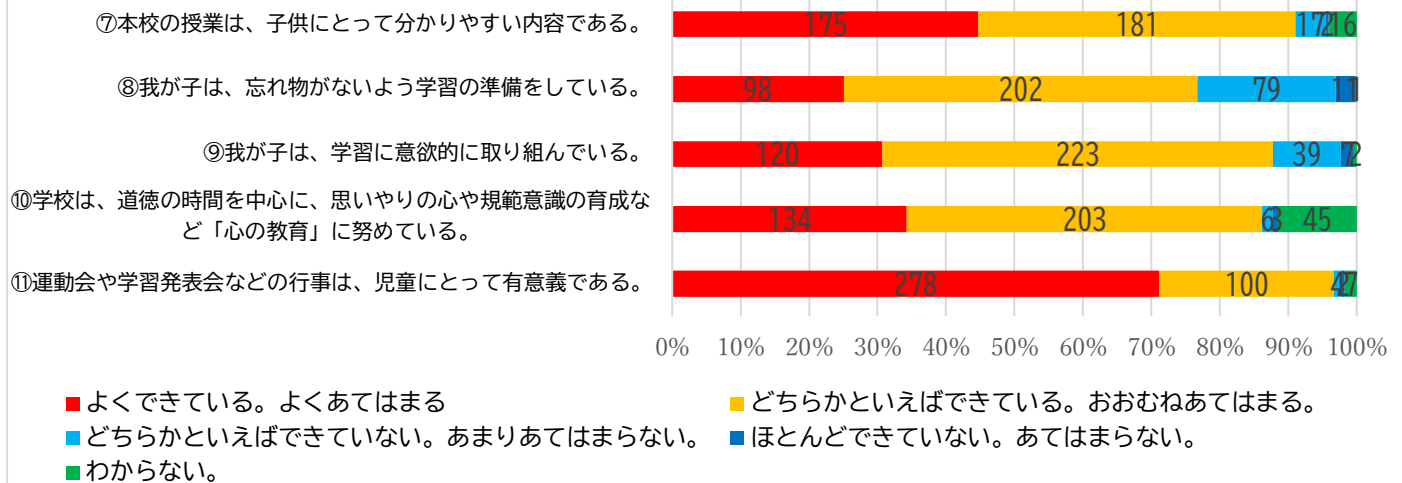
ピックアップ⑥「心身をきたえる子」に関する項目について



分析及び改善・充実案

この項目はAの回答が、他の項目に比べて少ないことと、前年の回答と比べて減少していることが分かりました。新型コロナウイルス感染症の拡大を予防するために提案された新しい生活様式が子どもも大人も習慣となり、「心身をきたえる」という視点において学校生活で求める姿もコロナ以前より簡単なものになっている様子があります。例えば、休み時間には必ず外で遊ぶというきまりがなくなり、体調不良や感染予防のために室内で遊ぶことを学校が許容していたり、友達と体が接触しないように距離をとってほどほどに遊んだりするなど、「心と身体をきたえること」に対する意識が低下していると感じています。遊び方を学ぶために、ペア学級活動など、かかわることの楽しさを引き出すような取り組みをすすめるなど、すすんで自分をきたえようとする姿を褒めて支援していきます。

2 学習指導等について



前年度との比較

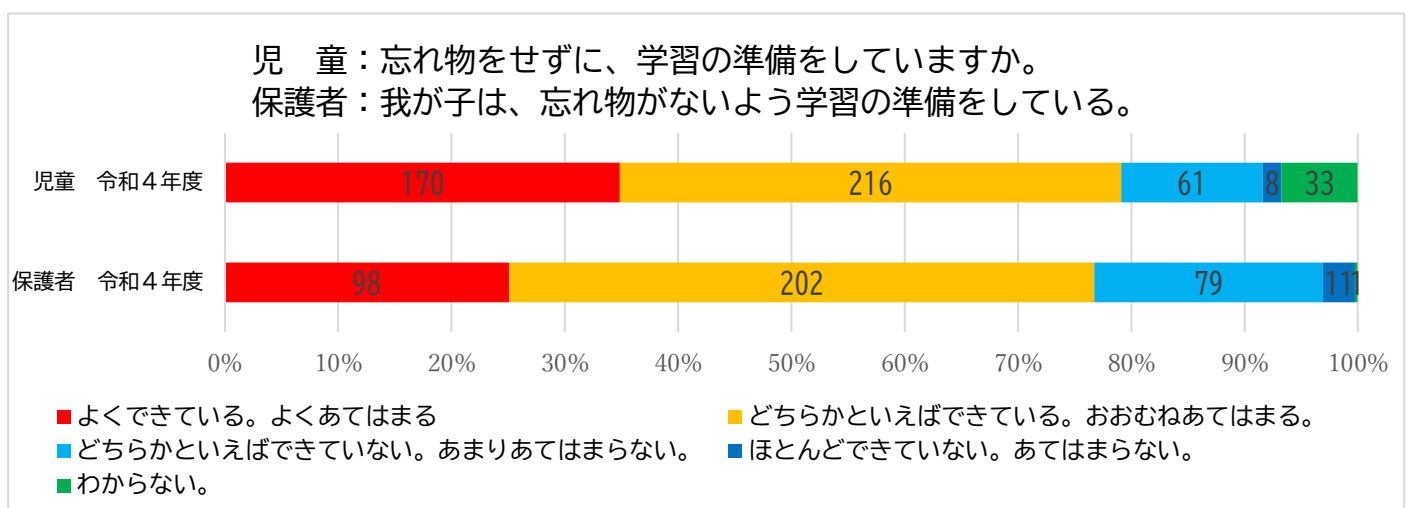
今年度の「2 学習指導等について」の結果は、上のグラフの通りとなりました。

肯定的なご意見となる A・B を合わせた割合は、前年度と比較して、

⑦「分かりやすい授業」	令和3年度	85%	→	令和4年度	91% (6ポイントアップ)
⑧「学習の準備」		(75%)	→		77% (2ポイントアップ)
⑨「学習への意欲」		(75%)	→		88% (13ポイントアップ)
⑩「心の教育」		83%	→		86% (3ポイントアップ)
⑪「行事」		96%	→		97% (1ポイントアップ)

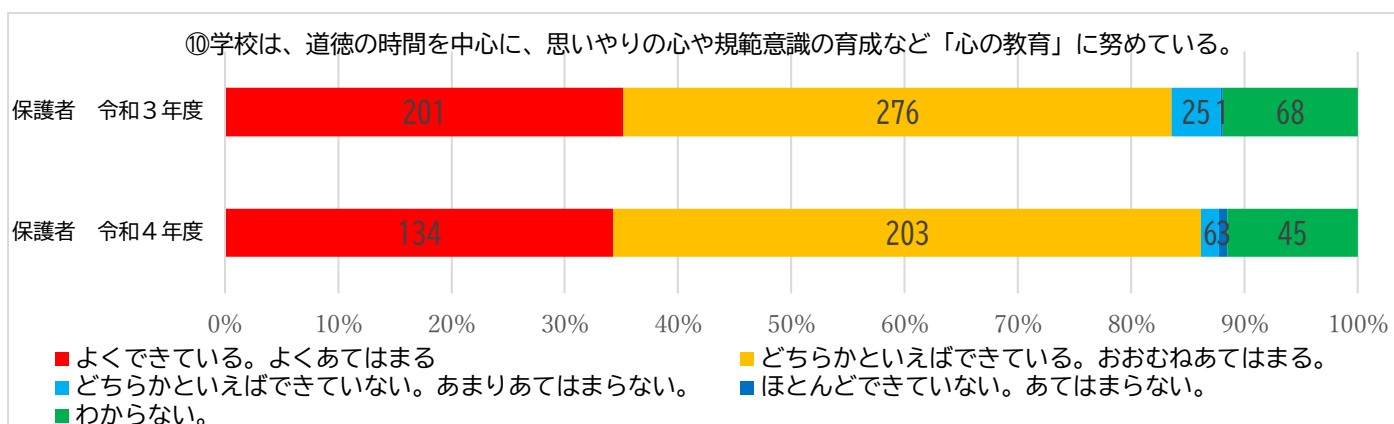
となっています。⑧⑨については、昨年度は「学習の準備・意欲」についてひとまとめになっている設問でしたが、今年度はそれぞれの項目に分けてアンケートにお答えいただいています。

ピックアップ⑨「学習の準備」に関する項目について



「忘れ物をせず、学習の準備をしっかりしている」では、昨年度と比べて2ポイントアップしたものの、約20%の方が否定的評価を行っており、依然として本校の課題と考えております。学年便りを通じて学習の予定をお知らせする際に必要な持ち物について記載することや連絡帳を通じて翌日の持ち物の連絡をすることは、引き続き取り組んでいくほか、必要に応じて一斉配信メールを活用して再度お知らせするようにします。家庭とさらに連携を図り、学習の準備が整うように努めてまいります。

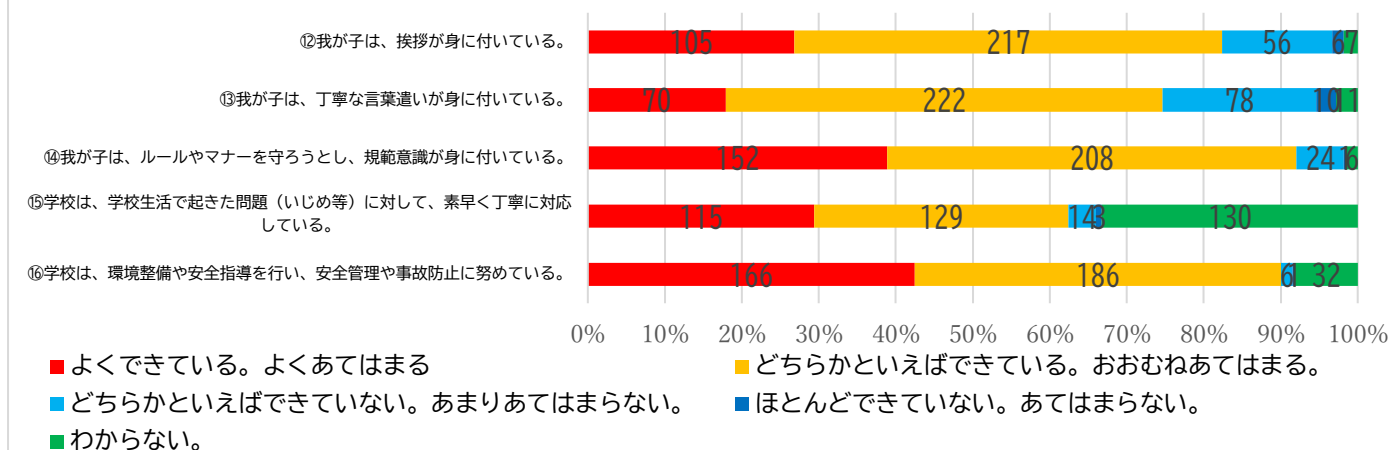
ピックアップ⑩「心の教育」に関する項目について



分析及び改善・充実案

昨年度より、学年だよりを活用して道徳の授業での取り組みを「心の教育コラム」として掲載して、本校の取り組みを各家庭に発信してきました。「わからない」と回答した方を除いて肯定的な回答した方の割合は、昨年度の95%から97%へ2ポイント上昇しています。授業で学んだことや児童の様子、学校生活における児童の変容など、このような内容をお知らせすることによって、保護者の方々に本校の取り組みを知っていただいたことが、今回の結果につながったものと考えます。次年度も引き続き発信して、より一層保護者の方々に理解していただくとともに信頼していただけるように努めてまいります。

3 生活指導等について



前年度との比較

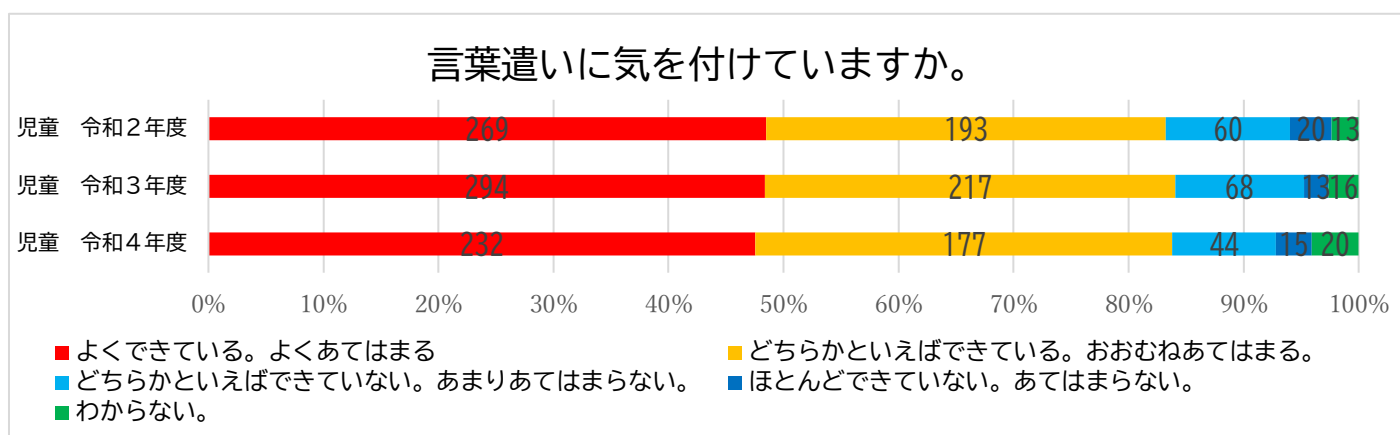
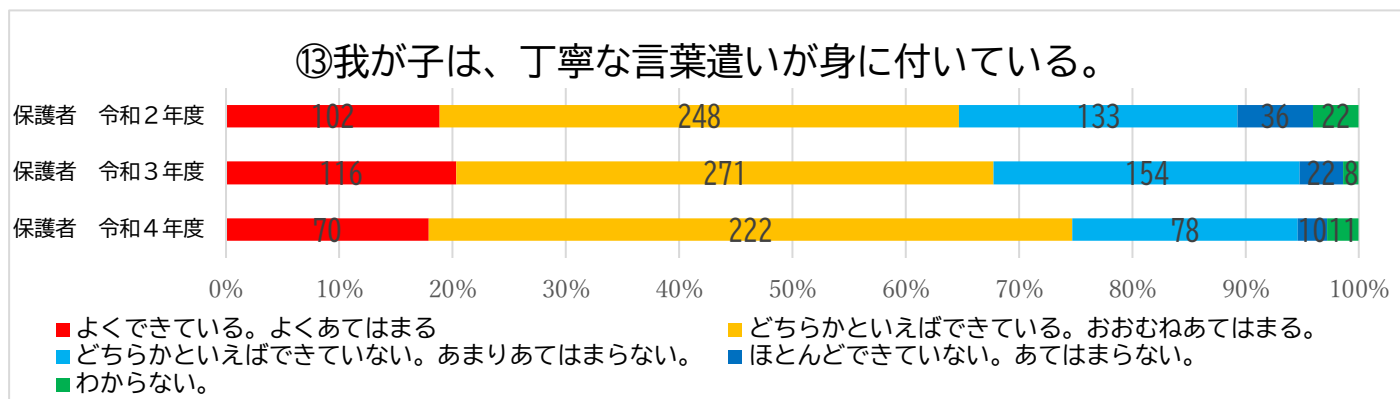
今年度の「3 生活指導等について」の結果は上のグラフの通りとなりました。

肯定的なご意見となる A・B を合わせた割合は、前年度と比較して、

⑫「挨拶」	令和3年度	82%	→	令和4年度	82%（増減なし）
⑬「言葉遣い」		67%	→		75%（8ポイントアップ）
⑭「規範意識」		90%	→		92%（2ポイントアップ）
⑮「いじめ等の対応」		62%	→		62%（増減なし）
⑯「安全管理」		90%	→		90%（増減なし）

となっています。

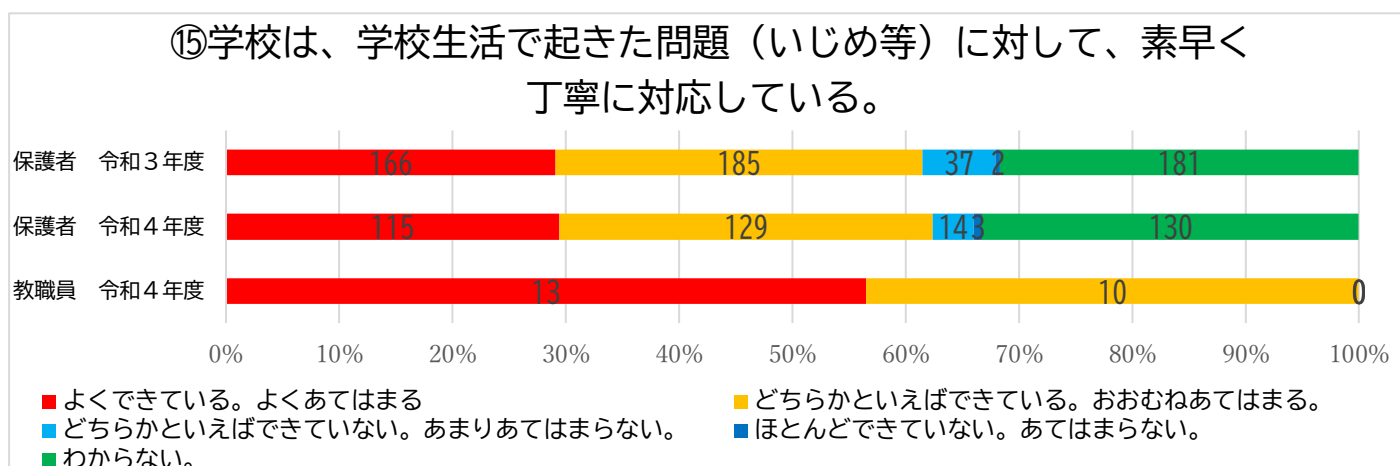
ピックアップ⑬「丁寧な言葉遣い」に関する項目について



分析及び改善・充実案

今年度は「言葉遣い」に対する肯定的な回答が昨年度に比べて8ポイントアップしました。普段の指導の積み重ねや、週ごとの生活目標を通しての丁寧な言葉遣いの啓発などから、児童の中の意識の高まりが感じられる結果となりました。一方、教職員の見取りとしては、定着度に個人差があることや、同じ児童でも状況や場面によっては適切な言葉遣いができていないことがある、ととらえています。「言葉遣い」は他人とのコミュニケーションの根幹をなすものであり、⑫の「挨拶」の内容とも重複する部分のある大変重要な項目であると考えます。次年度も引き続き定期的な生活指導の講話や各学級の指導を充実させることで「どの児童も、どの場面でも、丁寧な言葉遣いを。」を目指して参ります。

ピックアップ⑮「いじめ等の対応について」に関する項目について



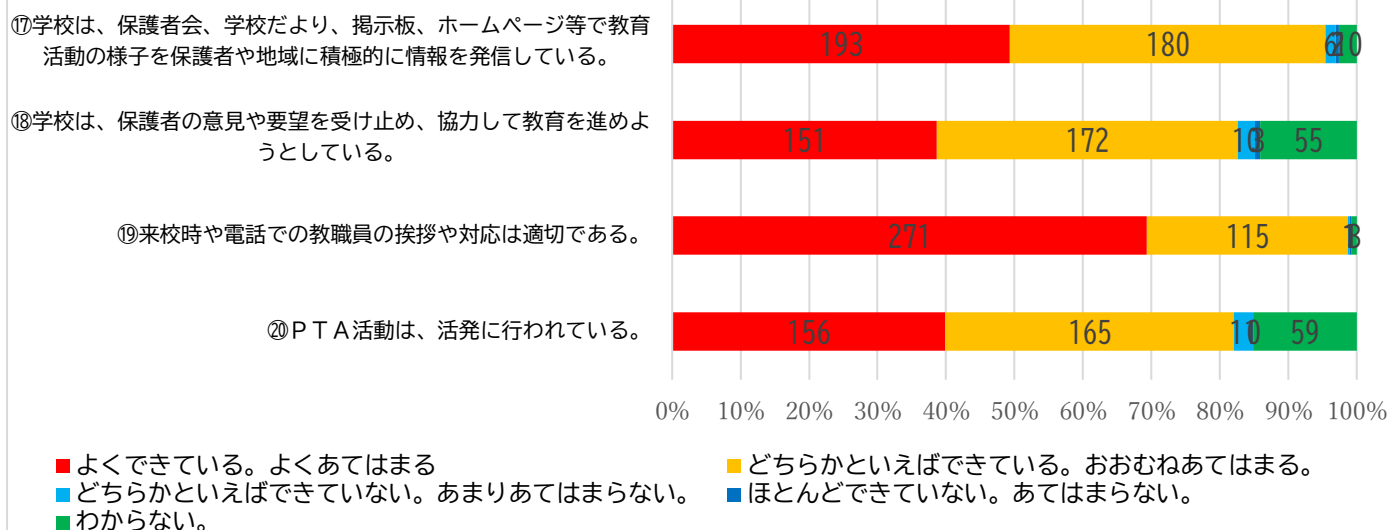
分析及び改善・充実案

「いじめ等の対応」では、今年度も保護者の方と教職員で大きく差が表れる結果となりました。保護者の方の肯定的な意見は前年度から変わらず62%となっていますが、「わからない」と回答した方を除いた肯定的な回答は前年度の90%から93%へ3ポイント上昇しています。一方で「わからない」が今年度も多く、34%を占めています。また、教職員では、肯定的な意見が100%となっており、両者間での差が顕著です。

学校ではいじめ等防止に向けて「いじめ防止対策基本方針」を策定し、OJT等を通して全教職員がその内容を理解・遵守するよう努めています。また、「ふれあい月間」に合わせて全校児童に「心のアンケート」を実施し、いじめの兆候が見られるケースを迅速に把握し、対応を図っています。教職員やスクールカウンセラー等のスタッフが一体となり、「いじめは絶対に許されない」という強い信念のもと取り組んでいます。

ホームページで「いじめ防止対策基本方針」を周知したり、DVD教材「STOP! いじめ」(東京都教育委員会)を活用した道徳の授業及び学級活動等におけるアサーション(自分も相手も大切にしたい自己表現)の取組や「心のアンケート」等いじめ未然防止策についての取組を学校便りや学年便りを活用してお知らせしたりすることで、保護者の方にも学校の取り組みを十分知っていただけるよう継続して努めて参ります。また、新年度の保護者会では林町小学校の「いじめ防止基本方針」についてご説明する機会を設けて参ります。

4 保護者・地域との連携



前年度との比較

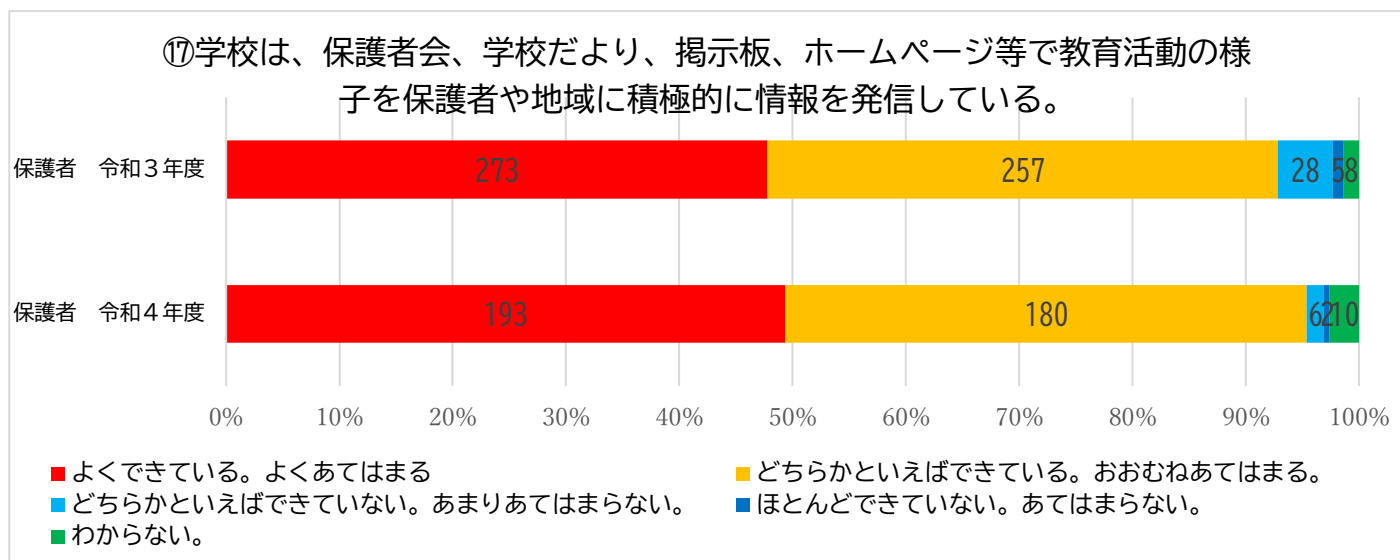
今年度の「4 保護者・地域との連携について」の結果は上のグラフの通りとなりました。

肯定的な意見となる A・B を合わせた割合は、前年度と比較して、

①「情報発信」	令和3年度	92%	→	令和4年度	95% (3ポイントアップ)
②「要望の受け止め」		83%	→		83% (増減なし)
③「教職員の対応」		96%	→		99% (3ポイントアップ)
④「PTA活動」		80%	→		82% (2ポイントアップ)

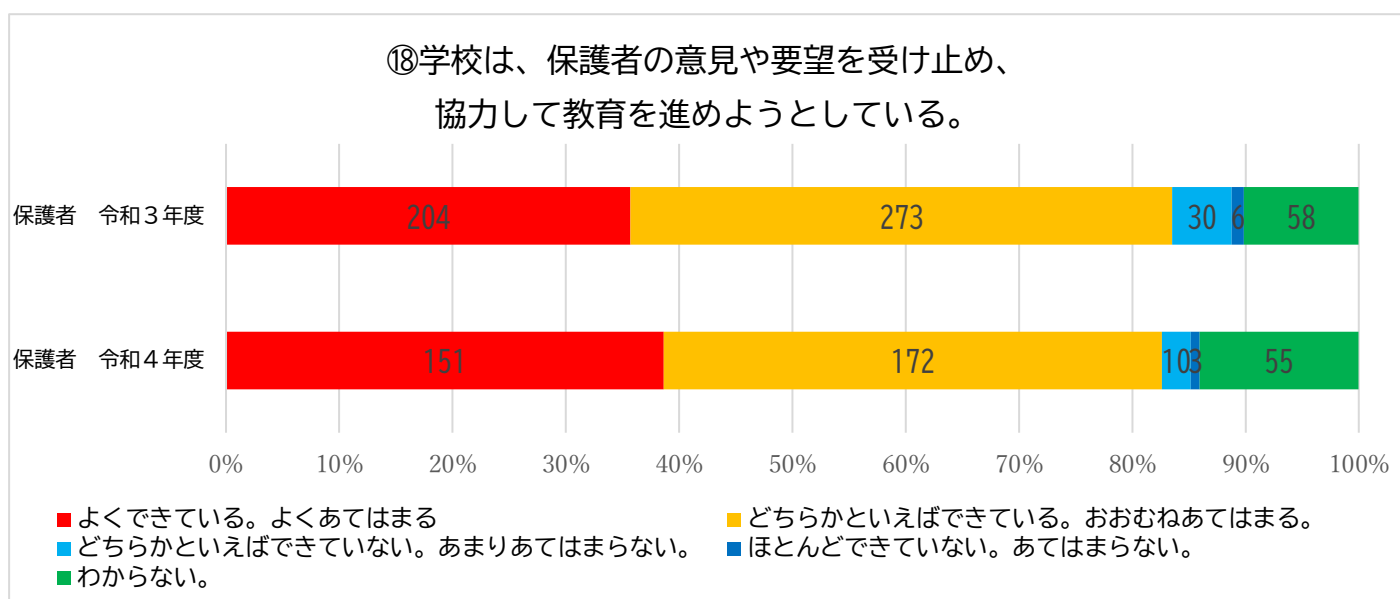
となっています。

ピックアップ⑰「情報発信」に関する項目について



昨年度の保護者の方からの肯定的な回答は92%であったのに対して、今年度の肯定的な回答は95%と3ポイント高くなっています。また、「わからない」と回答した方を除いた肯定的な回答の割合は、前年度の94%から98%へ4ポイント上昇しています。従来の学校だよりやホームページなどの情報発信に加えて、今年度は昨年度よりも多くの保護者の方に学校公開や学習発表会等で直接本校の教育活動を見ていただける機会があったことが大きな理由として考えられます。昨年度に引き続き、このような結果が得られたことは教職員にとって大変励みになることです。今後も本校の教育活動をわかりやすく、広くお伝えしていくために内容を吟味しながら学校だよりやホームページを活用していきます。また、感染症対策による制限がある状況の中でも、社会の変化に対応しながら実施可能な方法を打ち出すことで保護者の方に直接本校の教育活動に触れていただく機会を大切にしていきたいと考えます。

ピックアップ⑱「要望の受け止め」に関する項目について

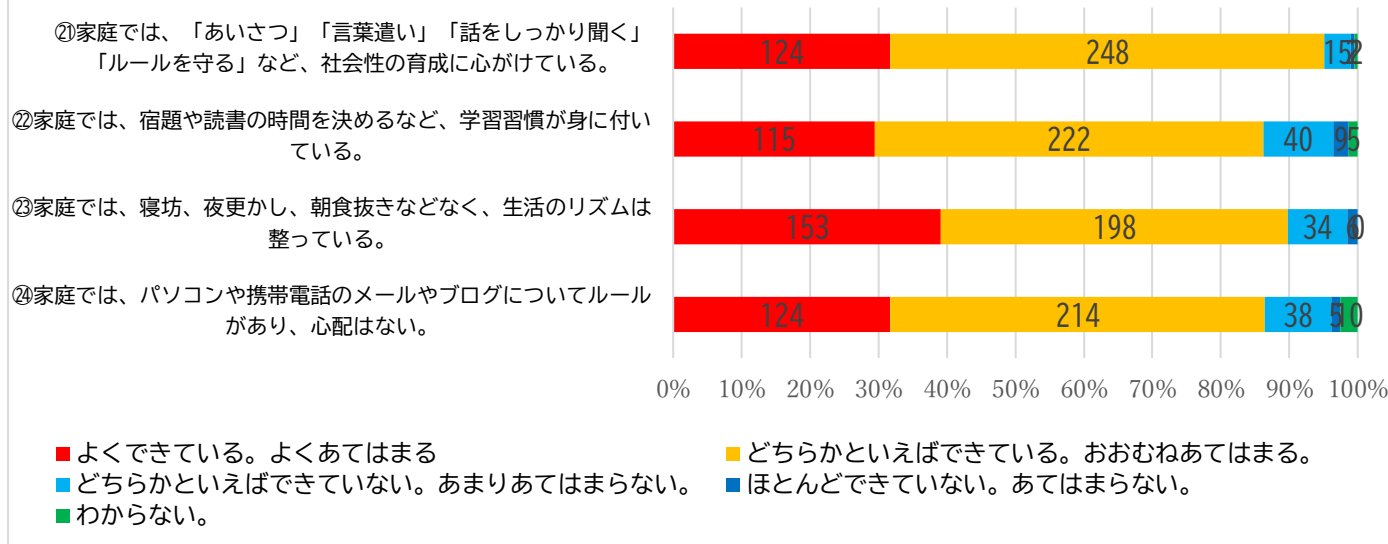


分析及び改善・充実案

昨年度に引き続き、今年度の肯定的な回答は83%で、増減なしとなりました。ただし、「わからない」と回答した方を除いた肯定的な回答の割合は、前年度の93%から96%へ3ポイント上昇しています。比較的多くの

肯定的な回答をいただいている一方で、14%の保護者の方からは「わからない。」という回答をいただいていることについて、改善していきたいと考えます。「ご意見やご要望の受け止め」「協力」という2つのキーワードの改善に向けては、本アンケートや学校公開等でいただくアンケート結果等を真摯に受け止め、日々の教育活動の向上に努めていくことが大切だと捉えています。今後もアンケート等でいただく貴重なご意見を職員間で共有・分析しながら改善に努めるとともに、情報の発信の仕方も工夫しながら学校とご家庭とで気持ちを一つにして教育活動の充実に努めて参ります。アンケート等へのご理解とご協力についても、引き続きよろしくお願いいたします。

5 家庭教育について（家庭での親子の関わり等について）



前年度との比較

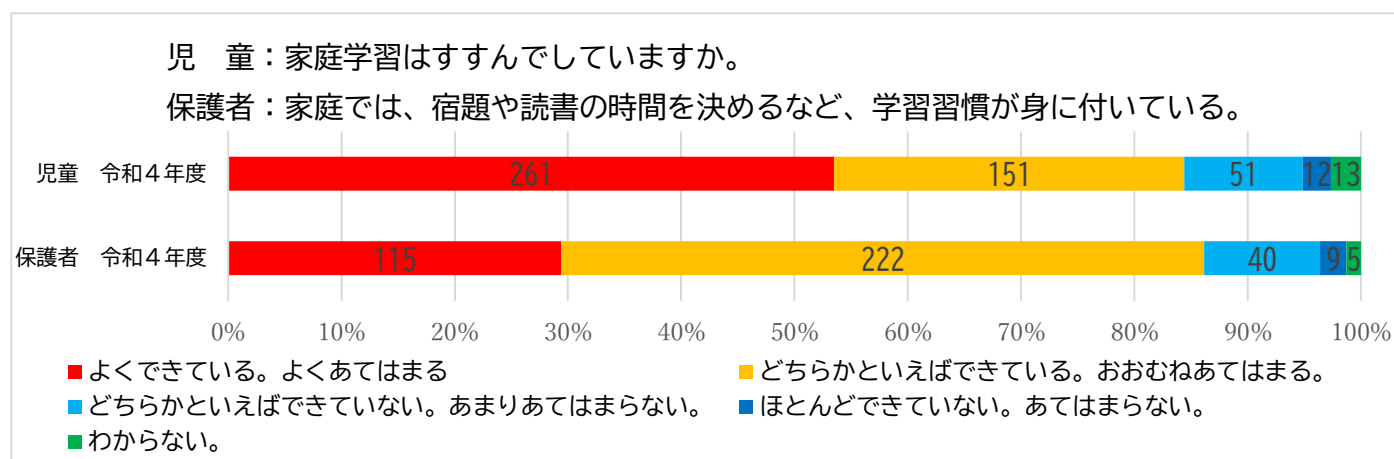
今年度の「5 家庭教育について」の結果は上記の通りとなりました。

肯定的なご意見となる A・B を合わせた割合は、前年度と比較して、

①「社会性の育成」	令和3年度	94%	→	令和4年度	95%（1ポイントアップ）
②「学習習慣」		80%	→		86%（6ポイントアップ）
③「生活リズム」		87%	→		90%（3ポイントアップ）
④「携帯電話の使用等」		79%	→		86%（7ポイントアップ）

となっています。

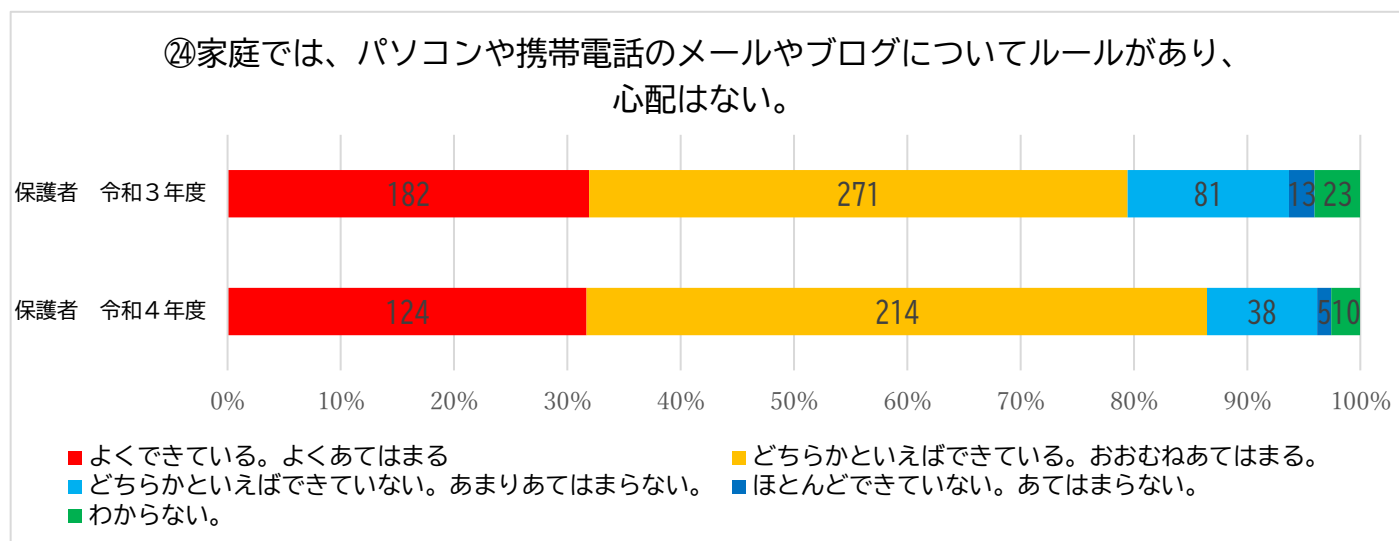
ピックアップ②「学習習慣」に関する項目について



分析及び改善・充実案

今年度の保護者の方からの肯定的な回答は86%となっています。また、児童の家庭学習に関するアンケート結果も肯定的な回答は84%となっており、数値はほぼ一致しています。全体的には8割超の児童が保護者のサポートとともに家庭学習の習慣が身に付いている一方、2割弱の児童は家庭学習の定着に向けて改善やサポートが必要であることが伺えます。家庭学習の定着化は、別項目の持ち物をそろえることや次の日の学習に対する意識付けと連動しています。改善やサポートが必要なご家庭については、新年度を迎えるにあたって今一度お子さんと話したり家庭内での約束を確認したりしていただきますようお願いいたします。

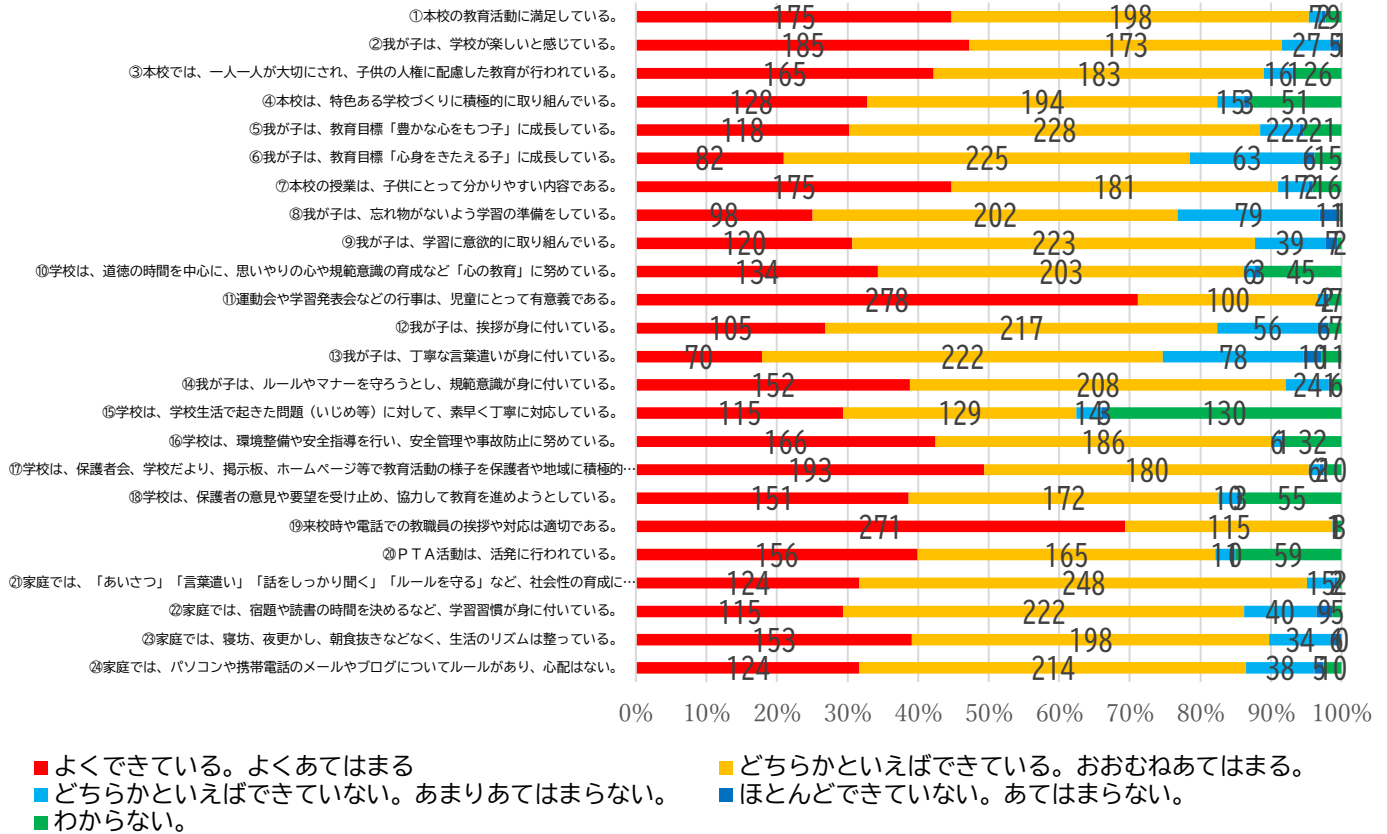
ピックアップ②④「携帯電話の使用等」に関する項目について



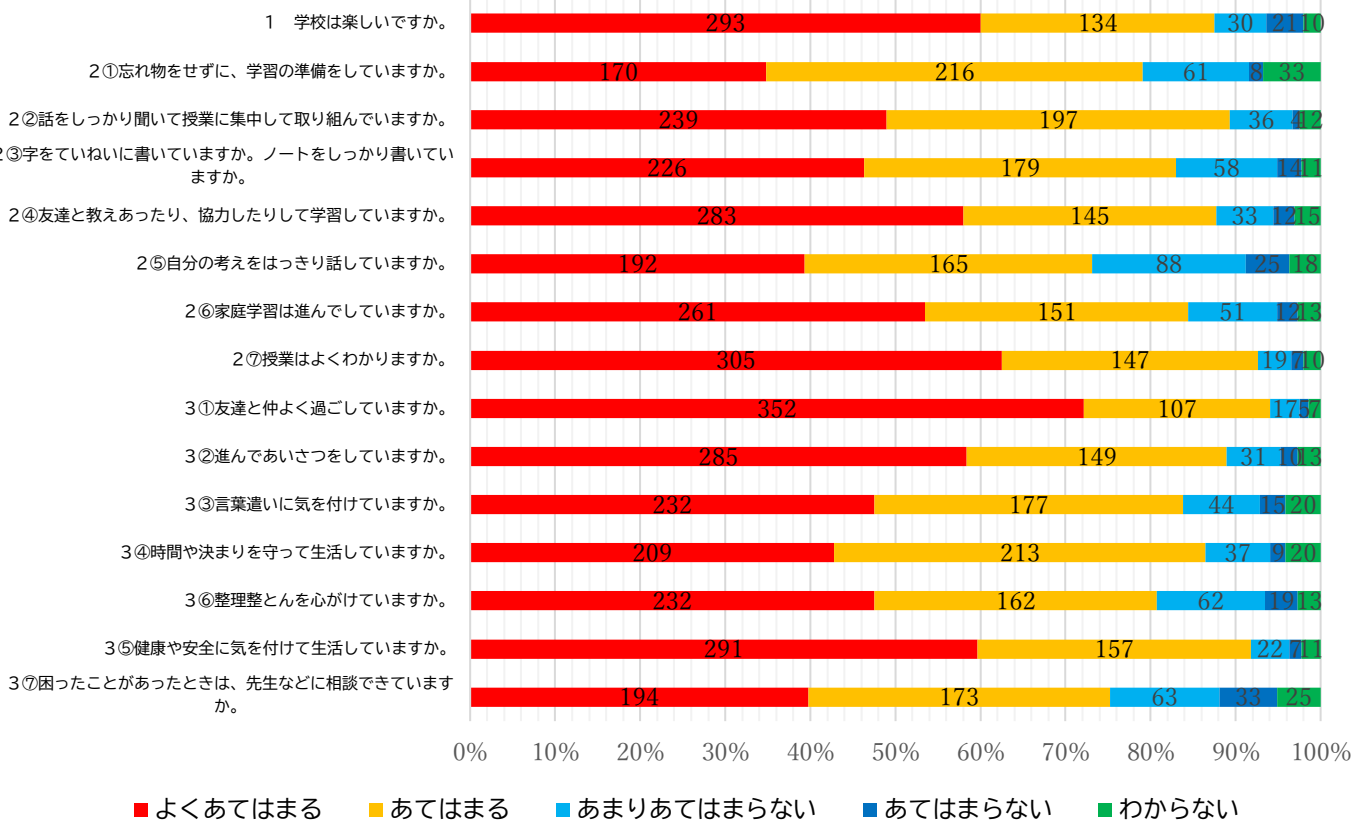
分析及び改善・充実案

今年度の保護者の方からの肯定的な回答は86%となり、これは昨年度の79%から7ポイントアップの結果となりました。また、全体の11%が否定的な回答となり、こちらも昨年度の16%から比べると改善が見られた結果となりました。1人1台のタブレット端末の活用が始まり2年目を迎え、学校やご家庭でのタブレット端末の有効活用が推進されてきているとともに、タブレット端末等の使い方やルールについて、教員、保護者、児童の中で共通理解が進んできている結果だと考えます。今後も引き続き、学校では情報モラルの重要性をタブレット端末の正しい使い方についての説明等と併せて、計画的に児童に伝えています。再度ご家庭でも本校ホームページの「林町小学校タブレットルール」を参考にいただき、必要に応じたルールの確認をお願いいたします。

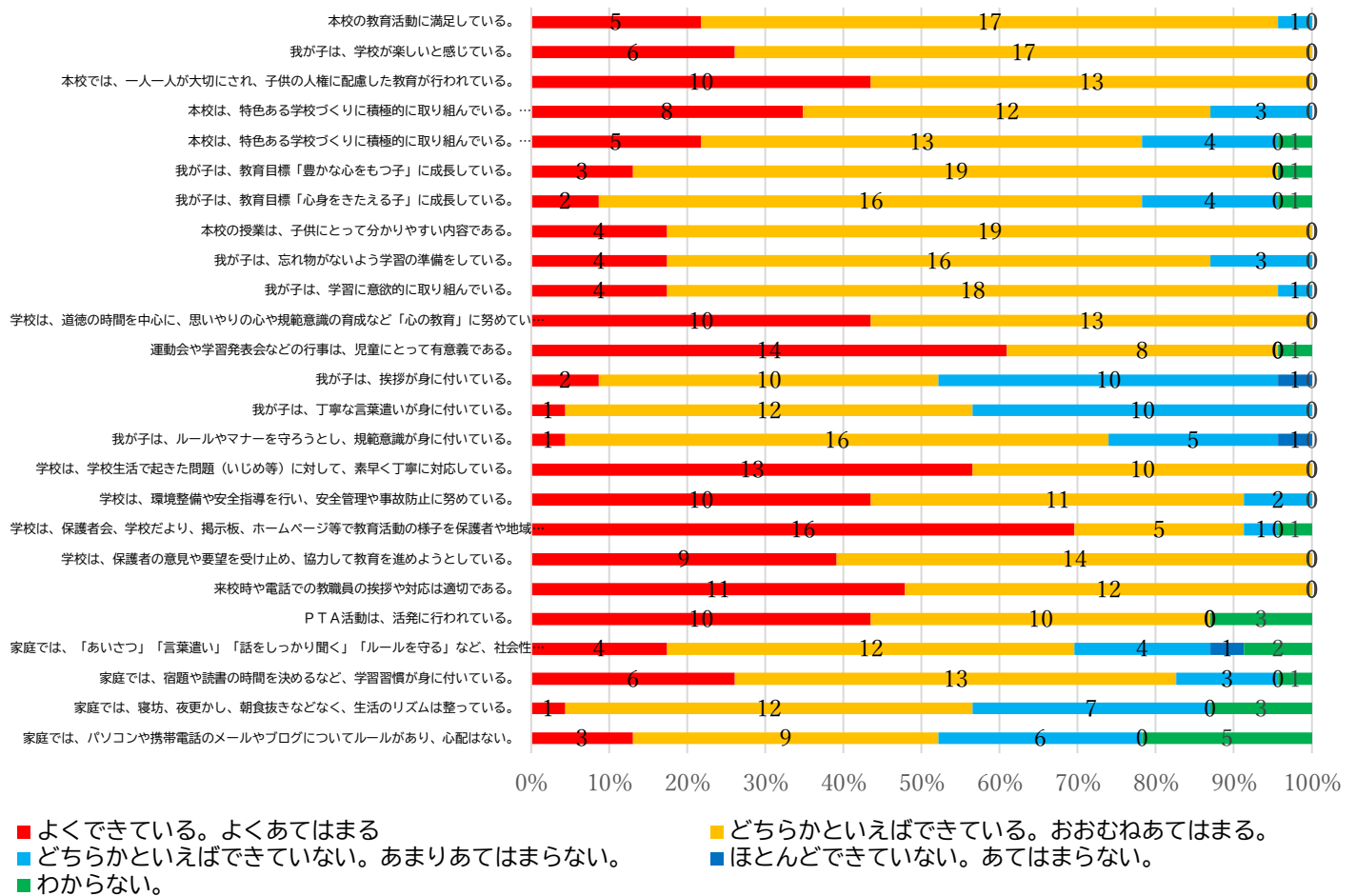
保護者アンケート



児童アンケート



教職員アンケート



※「教職員アンケート」では、「我が子」を「本校の児童」と置き換えて回答しています。